

大政翼贊

大政翼贊會實踐要綱

一、臣道實踐 大政翼贊の大義に則り肇國の理想に基く新政治體制の完成を期し高度國防國家建設のため一億一心その任務遂行に努む

二、綜合的政治新體制の樹立 臣道實踐の大義に則り臣民の創造力を遺憾なく發揮せしむるが如き綜合的政治體制の確立に努む

三、翼贊經濟體制の確立 世界新秩序建設に主要なる一環としての皇國の大使命を貫遂するため廣く國民の知識、創意、能力を總動員し雄深なる高度國防經濟の建設を目標とする翼贊經濟體制の確立に努む

四、東亞共榮圈の確立 八紘一宇の大精神に基き東亞諸國と共存共榮の協力體制の完備に努む

五、科學的新日本文化の昂揚 高度國防國家體制に即應するため科學的新日本文化の昂揚に努む

六、國民生活新體制の確立 皇國臣民の基本觀念たる翼贊

意識を國民生活の全部局に浸透せしめ新しき生活倫理の確立に努む

大政翼贊は日本の心である。それは國民生活のあらゆる部局に、どんなところにも浸み透らなければならぬ。この心は昔からの心ではあるが、現下の時局、國家の大時期、一般の徹底と普及とが急務になつてゐる。殊に、平安の時につい怠つてゐた公心がぐんぐん生活の第一面に出て來なければならぬのである。そして、一切の私心を滅して、一途に公に奉じ、大政翼贊に一貫しなければならぬ。

従つて、この奉公第一精神から、生活倫理の理論にも實際にも、個人主義、自己主義、私慾主義の不純が排除せられなければならぬ。たゞに、之等の舊い影を追ひ拂つたばかりでなく、新しい、正しい、よいものも、國民の眞の生活倫理が建設せられ、實現せられ、また陶冶訓練もせられなければならぬ。

この、眞國民生活倫理の陶冶と訓練こそ、教育がしつかりと擔ふべきところの受持ちである。——これからの幼稚園は、この眞國民生活倫理を培ひ育てる苗圃である。(倉橋)